

# ライディングスポーツ 2 & 4 SPNシリーズ 2012

## イベントレギュレーション

### 1. 組織

・ スピードパーク新潟（以下、SPNと呼ぶ）は、同サーキットのイベント、ライディングスポーツ 2 & 4 SPNシリーズ 2012開催に際し、同イベントの企画、管理、運営、進行をしていく組織とする。

### 2. カート・ミニバイク

・ ライディングスポーツ 2 & 4 SPNシリーズ 2012は、カートクラスはSS-OPENクラス、KART-OPENクラス、ミニバイククラスは HRC NSFトロフィー、MB-エキスパート、MB-SP、SP-100、MB-フレッシュマン、MB-OPENに分けられ、それぞれの競技規則にて運営される。

・ SPNにて、車検を通過したマシンのみライディングスポーツ 2 & 4 SPNシリーズ 2012に参加することが出来る。

### 3. ドライバー、ライダー

・ スポーツ走行が出来れば参加できる。

### 4. エントリー

・ 各イベントのエントリーは、イベント毎の形で決定される。

・ 18歳以下の場合、エントリーは親権者の承認の下にされなければならない。

### 5. ブリーフィング

・ 競技に参加するドライバーもしくはライダーは、ブリーフィングに参加しなければならない。ブリーフィングに参加しない参加者は、当該イベントに参加することが出来ない。

### 6. イベントスケジュール

・ 全てのイベントは同じ日に行う。また、タイムスケジュールは前もって公式通知にて、ホームページもしくは、SPN事務所にて掲示することとする。

### 7. サーキット走行に関する規則

サーキット走行における厳守事項

・ サーキット走行する際は、SPNにて定められた規則を熟知し、当該施設の指導員・係員・オフィシャル等の指示に従わなければならない。

優先権

・ 基本的にレコードラインを走行するものに優先権がある。

・ スロー走行するものは、レコードラインを走行する者の進路を塞いではならない。

・ ピットロードにおいては、ピットインする車両に優先権がある。

走行中の注意

・ 常にフラッグを確認し、その指示に従う義務がある。

- ・ いかなる場合でも逆方向または、規定以外のコースを走行してはならない。  
ピットイン
- ・ ピットインする際は、ホワイトラインをカットしてはならない。
- ・ ピットインする2つ手前のコーナーより、必ず手で合図し、右端を走行すること。
- ・ ピットロードにおいては、必ず徐行で走行しなければならない。
- ・ いかなる場合でも、ピットロードで停車することは出来ない。
- ・ 必ず停止区域で停車しなければならない。
- ・ サインボードを出す際は、走行者に優先権があることを認識し、自己の責任において安全確保するものとする。

#### コースアウト

- ・ コースアウトしたら、後方の安全を確認してコースに復帰することが出来る。その際、コースを汚してはならない。
- ・ 接触などした場合は、車両の確認にも留意しコースを汚してはならない。
- ・ トラブル等で走行を止める際は、車両をコース外の安全な場所に止め、グラベル隅または安全な場所に退避しなければならない。
- ・ その際は必ずヘルメットを着用してなければならない。
- ・ 走行中コースに液体等を撒き散らす恐れのあるようなトラブルがあった場合、速やかにコース外へ出ること。
- ・ 車両は自己の責任において、安全装備、トラブル、事故の無いよう整備されてなければならない。

## 8. スタート方式

#### ローリングスタート

- ・ ローリングスタートは全車隊列が整ったのを確認したスターターが日章旗を振ってスタートする。その際、オレンジラインからスムーズに加速することが出来る。また、スタート/フィニッシュラインまでは前車（斜め前の車両も含む）を抜くことは出来ない。

抜いてしまった場合、ペナルティの対象となる。

#### スタンディングスタート

- ・ グリットが整わなかった
- ・ 何かしらの原因でコースのクリアが損なわれた場合にはスタートのやり直しになる。
- ・ スタートディレイになった場合フォーメーションラップからやり直し。

レースは周回数を1周減算して行われる。

#### 9. ゼッケン

- ・ ゼッケンはフロント及びリヤのよく見える部分に表示されなければならない。ゼッケンは剥れないようにしっかり貼り付けなければならない。

#### 10. 抗議、控訴

- ・ 抗議に関しては、当該セッション終了後、正式結果発表までに大会組織委員長へ、20,300円の手数料と共に提出しなければならない。
- ・ 抗議は、抗議内容と関連するレースに参加した競技者により提出されなければならない。
- ・ 参加者は、決定が下されてから20分以内であれば控訴する権利を持つ。

#### 11. 車検

- ・ 朝の車検では、ドライバー・ライダーの装備品（ヘルメット、スーツ又は皮ツナギ、グローブ、シューズ又はブーツ）も用意し、車検と共に受けること。
- ・ 公式車両検査に合格した車両は、本大会中その形状を維持しなければならない。
- ・ 後車検では、表彰台に上がる上位3台を後車検の対象とする。チェッカー後パークフェルメにて保管され、車両保管となる。その際、カートは重量測定も行う。
- ・ 公式結果発表後、車両保管解除となる。
- ・ 詳細は、各車両規定による。

#### 12. ポイント制度

- ・ 全5戦の合計ポイント制となる。
- ・ レース距離の50%以下で中止された場合、50%のポイントが与えられる。レースの75%が消化している場合、フルポイントが与えられる。端数に関しては、繰り下げる。

1位－20pt	5位－5pt
2位－15pt	6位－3pt
3位－12pt	7位－2pt
4位－8pt	8位以下各－1pt

尚、シリーズ最終戦終了時点でポイントが同点の順位が発生した場合は、以前のレースで上位入賞回数が多い選手に優先権がある。

#### 13. 赤旗中断された場合

やむを得ない理由により赤旗にて走行が中断された場合、走行再開の手順は以下のとおりとする。

フリー走行・タイムアタック予選時

- a) 赤旗にて走行が中断された時点での時間を差し引いた残り時間が、残りの走行時間となる
- b) 残りの走行時間が3分を切っている場合は、サーキット責任者又はレースコントロールの判断でそのセッションを終了とする。
- c) ただしb)においてもセッション中断が多くありタイムアタックが十分に行われていないとサーキット責任者又はレースコントロールが判断した場合は、セッションの5分間のセッション延長となる。

#### 予選レース・決勝レース時

- a) スタートから2周回を終えないうちに(トップの車両が2周目のコントロールラインを超えないうちに)走行が中断された場合はダミーグリットに付いた状態からのスタートのやり直しになる。
- b) スタートから2周回を終え(トップの車両が3周目に入った以降に)、かつ全レース周回数の60%を終えていない時点での走行中断は、中断された時点の1周前の順位をグリット順とした2ヒート制のレースとする。レース結果は2ヒート目の着順とする。

全8週の60%……5周目まで

全12週の60%……8周目まで

2ヒート目は中断時の残り周回数から1周減算した周回数とする。

例) 決勝12周レースの4周目で赤旗中断した場合

12-3(成立した周回)=9周 そこから1周引いた

残り8周での2ヒート目のレースとなる。

- c) 全レース周回の60%を越えてからの走行中断は、その赤旗を持ってレース終了とする。レース結果は中断された時点の1周前の順位を着順とする。

※ 赤旗を確認したら後方に合図を出しながら減速してピットインをすること。ピットロードのコントロールライン手前でオフィシャルが誘導するので、そこで停車し指示に従うこと。

#### 14.ピット及びパドック内におけるルール

- ・ピット及びパドックでの火気の使用を禁止する。
- ・ピット及びパドックでの喫煙は指定場所もしくは移動車内、トランポ内を除き厳禁とする。
- ・これに違反した場合厳重注意とする。

#### 15.各クラス賞金について

- ・フレッシュマンクラスを除くレースにおいて参加台数が15台以上のカテゴリーは賞金レースとなる。

1位-¥7000      2位-¥5000      3位-¥3000

## 16.年間表彰

- ・フレッシュマンクラスを除くレースのシリーズチャンピオン及び2位、3位までを対象とし

これに該当するエントラントは次年度の2&4の参加費が

1位-¥3000      2位-¥4000      3位-¥5000

となる。

